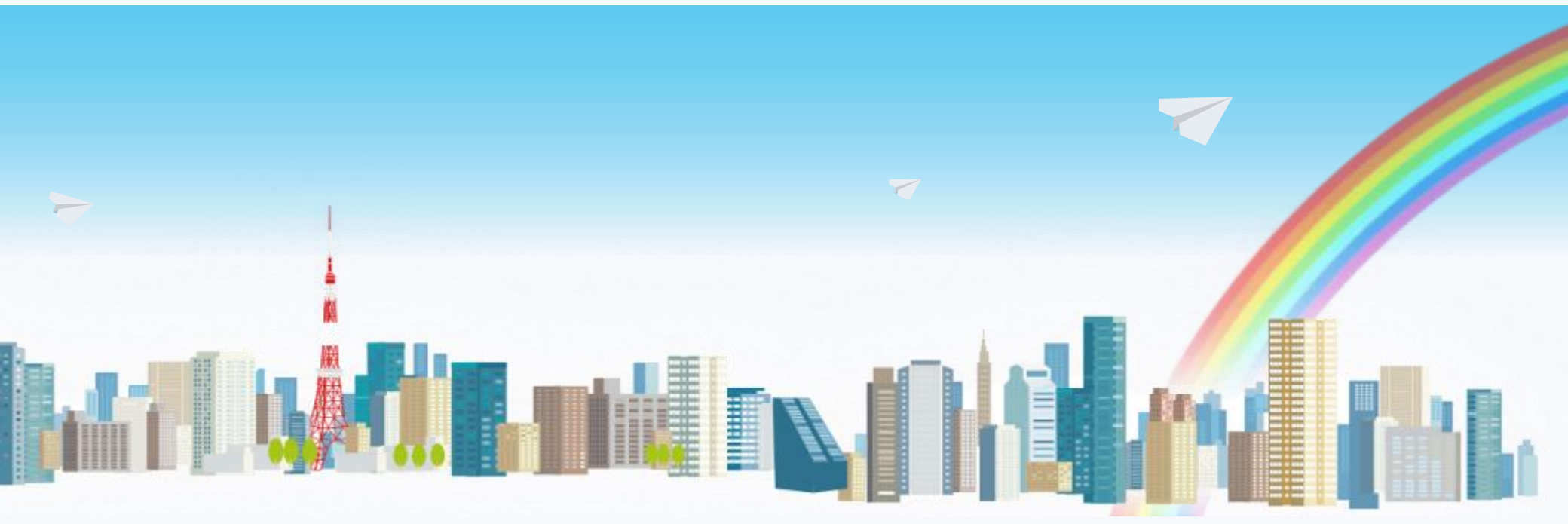


2026年 7月14日



2026年11月期 第2四半期 決算説明資料

AHCグループ株式会社
証券コード：7083



1	2026年11月期 第2四半期実績	3P
2	2026年11月期 通期業績予想	14P
3	2026年11月期 主要取組事項	20P
4	補足資料（会社・事業概要）	30P



1	2026年11月期 第2四半期実績		3P
2	2026年11月期 通期業績予想		14P
3	2026年11月期 主要取組事項		20P
4	補足資料（会社・事業概要）		30P



- 売上高は、既存事業所・前期開設事業所が順調に推移したことにより、208百万円増の3,466百万円となった
- 営業利益は、営業の改善効果などにより17百万円増の39百万円となった
- 経常利益は、支払利息の増加などにより12百万円増の51百万円となった

(単位：百万円)

	2025年11月期 第2四半期累計 実績 (2024/12～2025/05)		2026年11月期 第2四半期累計 実績 (2025/12～2026/05)		前年同期比 増減額	前年同期比 増減率
	金額	構成比	金額	構成比		
売上高	3,258	100.0%	3,466	100.0%	208	6.4%
売上原価	2,929	89.9%	3,098	89.4%	169	5.8%
売上総利益	328	10.1%	368	10.6%	39	12.1%
販売費及び一般管理費	306	9.4%	328	9.5%	22	7.4%
営業利益	22	0.7%	39	1.1%	17	75.9%
経常利益	38	1.2%	51	1.5%	12	33.4%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	14	0.4%	21	0.6%	7	53.2%



- 売上高は、予想通り3,466百万円を確保した
- 営業利益は、福祉・外食が順調に推移したことにより予想を27百万円上回り39百万円となった
- 経常利益は、助成金の影響などにより予想を39百万円上回り51百万円となった

(単位：百万円)

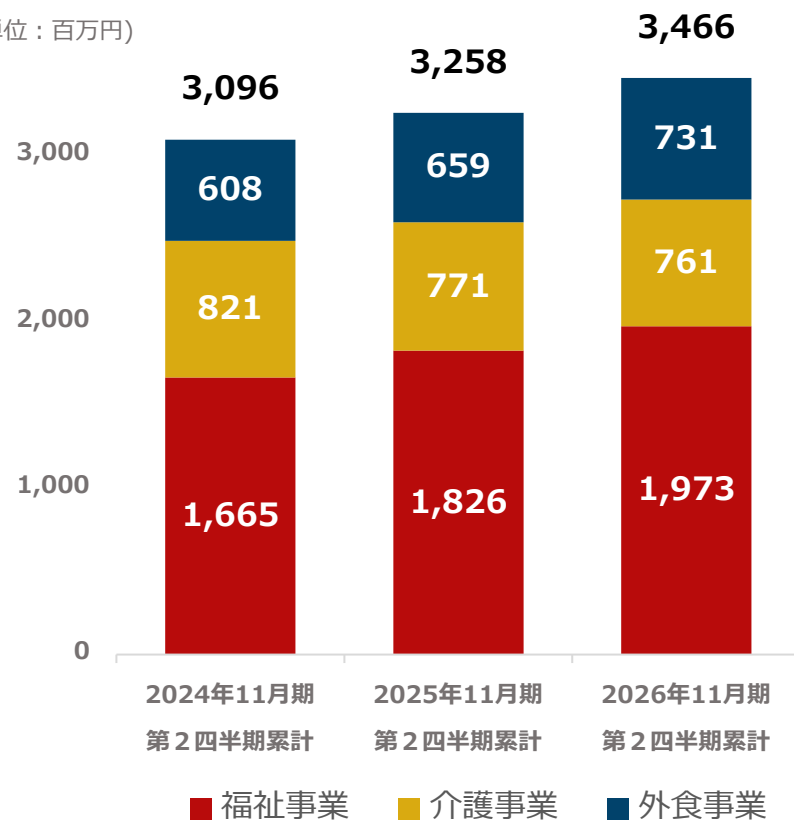
	2026年11月期 第2四半期累計 予想 (2025/12～2026/05)		2026年11月期 第2四半期累計 実績 (2025/12～2026/05)		予想比 増減額	予想比 増減率
	金額	構成比	金額	構成比		
売上高	3,465	100.0%	3,466	100.0%	0	0.0%
営業利益	11	0.3%	39	1.1%	27	242.8%
経常利益	12	0.4%	51	1.5%	39	316.1%
親会社株主に帰属する 四半期純利益 又は四半期純損失	△3	△0.1%	21	0.6%	24	—



- 売上高については、福祉事業・外食事業（食材の外部販売）で大きく伸ばすことができた
- 経常利益についても、売上の増加に応じて順調に推移した

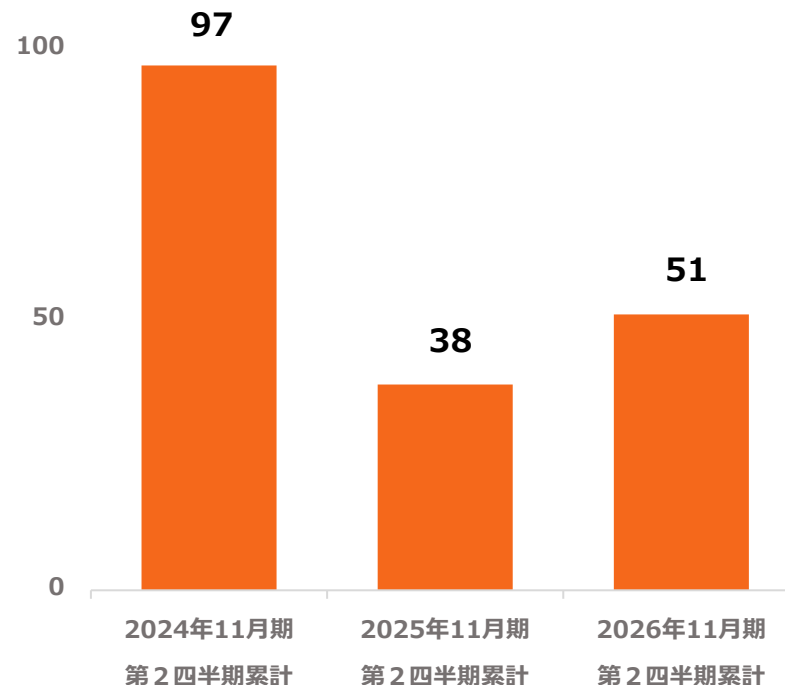
売上高の推移

（単位：百万円）

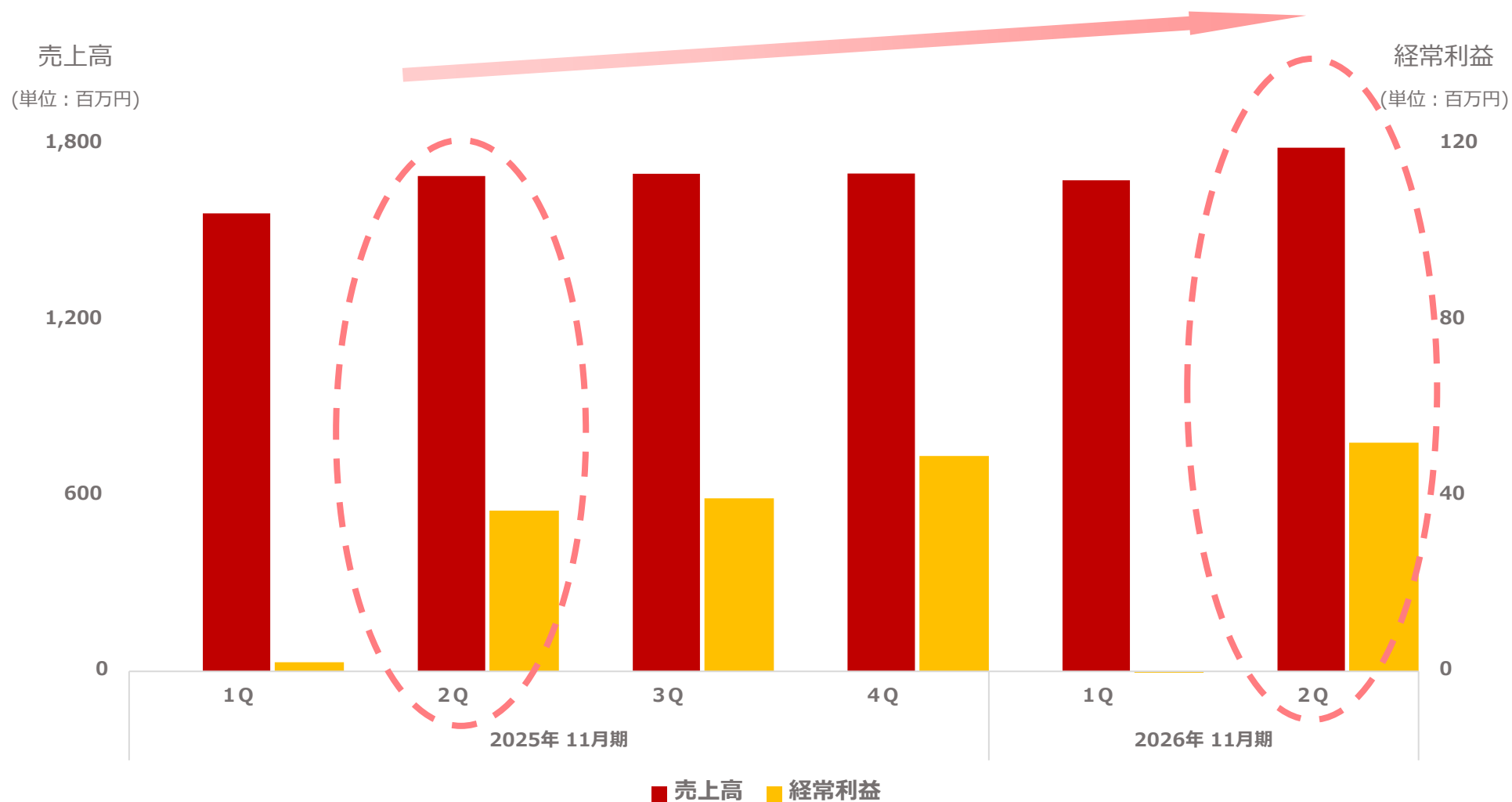


経常利益の推移

（単位：百万円）



■ 売上高、経常利益ともに前期と比較して増加で推移した

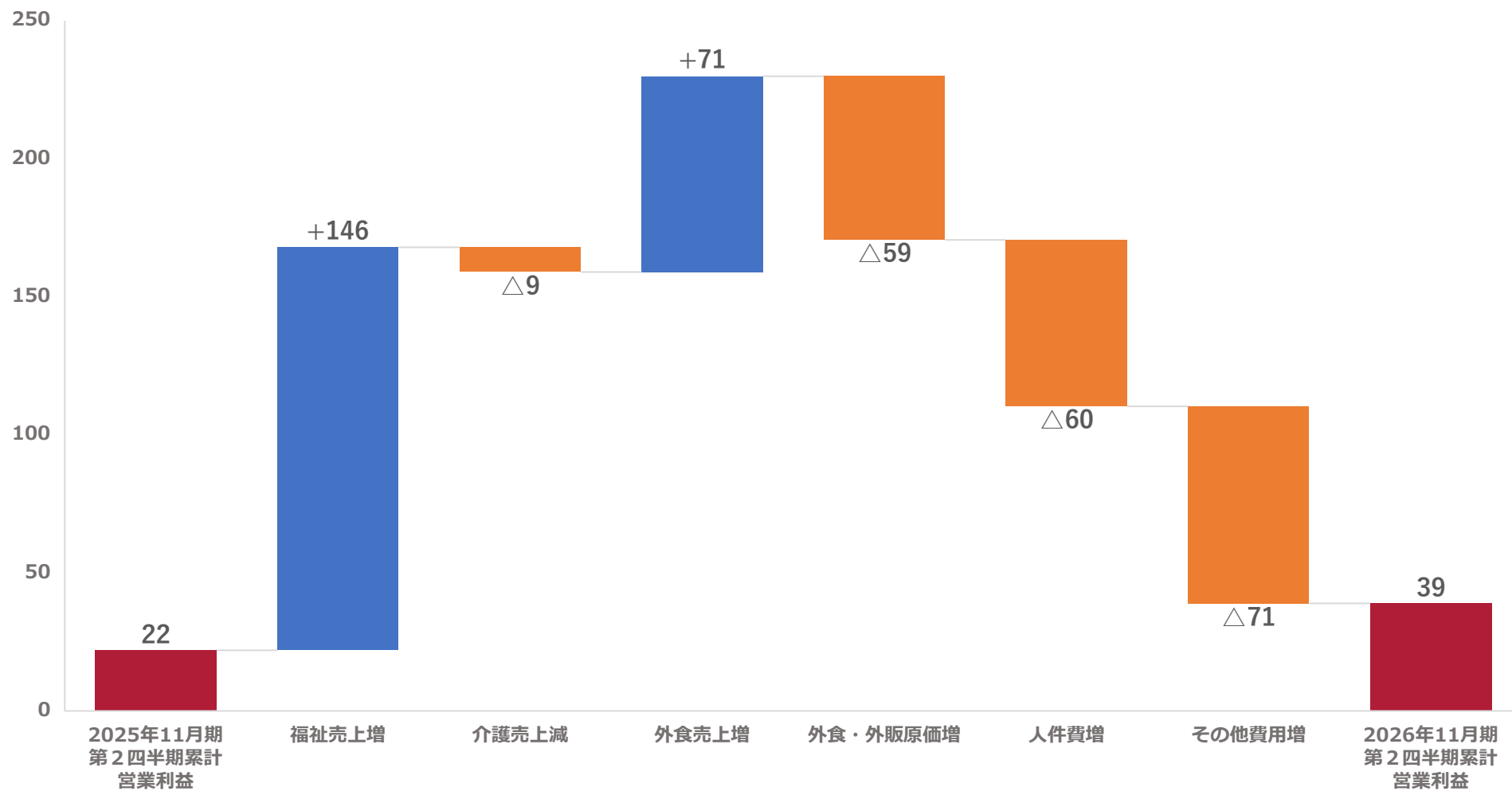


- 売上原価は、前期開設事業所の立ち上がりにもなう人件費の増加及び食材の外部販売の原価の増加等により169百万円増加した(構成比：0.5p減少)
- 販売費及び一般管理費は諸経費の増加等により22百万円増加した(構成比：0.1p増加)

(単位：百万円)

	2025年11月期 第2四半期累計 実績 (2024/12～2025/05)		2026年11月期 第2四半期累計 実績 (2025/12～2026/05)		前年同期比 増減額	前年同期比 増減率
	金額	構成比	金額	構成比		
売上高	3,258	100.0%	3,466	100.0%	208	6.4%
売上原価	2,929	89.9%	3,098	89.4%	169	5.8%
(人件費)	1,379	42.3%	1,435	41.4%	55	4.0%
(外食・外販原価)	373	11.5%	432	12.5%	59	15.9%
(地代家賃)	292	9.0%	298	8.6%	5	2.0%
(その他)	883	27.1%	931	26.9%	48	5.4%
販売費及び一般管理費	306	9.4%	328	9.5%	22	7.4%
(人件費)	49	1.5%	53	1.6%	4	9.8%
(のれん償却)	24	0.7%	20	0.6%	△4	△16.8%
(その他)	232	7.1%	254	7.3%	21	9.5%
営業利益	22	0.7%	39	1.1%	17	75.9%

(単位：百万円)



- 福祉事業は既存事業所の稼働が向上したことに加え、前期開設事業所が順調に立ち上がり、売上高及び営業利益は前年同期比・予想比ともに上回った
- 介護事業は事業所閉鎖の影響により、前年同期比で売上高は減少したものの営業損失は改善した
- 外食事業は既存店舗が好調に推移したこと、食材の外部販売が増加したことにより売上高及び営業利益は前年同期比・予想比ともに上回った

(単位：百万円)

		2025年11月期 第2四半期累計 実績 (2024/12～2025/05)	2026年11月期 第2四半期累計 予想 (2025/12～2026/05)	2026年11月期 第2四半期累計 実績 (2025/12～2026/05)	前年同期比 増減額	予想比 増減額
		金額	金額	金額		
福祉事業	売上高	1,826	1,970	1,973	146	3
	営業利益	104	94	119	14	24
介護事業	売上高	771	767	761	△9	△6
	営業利益	△24	△4	△19	4	△15
外食事業	売上高	659	728	731	71	3
	営業利益	44	31	49	4	17
調整額	売上高	0	—	—	△0	—
	営業利益	△102	△110	△109	△6	0
計	売上高	3,258	3,465	3,466	208	0
	営業利益	22	11	39	17	27

調整額：各セグメントに帰属しない全社費用及びセグメント間取引消去



2026年11月期 第2四半期末では2事業所を開設

当初計画(通期) : 就労継続支援B型3、グループホーム2(20居室)、児童発達支援1、居宅介護支援1、居酒屋1
実績(第2四半期末) : 就労継続支援B型1、居宅介護支援1

事業所数の推移

■ 福祉事業：1事業所を開設

就労継続支援B型 1事業所

- ・「パパゲーノ Work & Recovery府中」(5月)

■ 介護事業：1事業所を開設

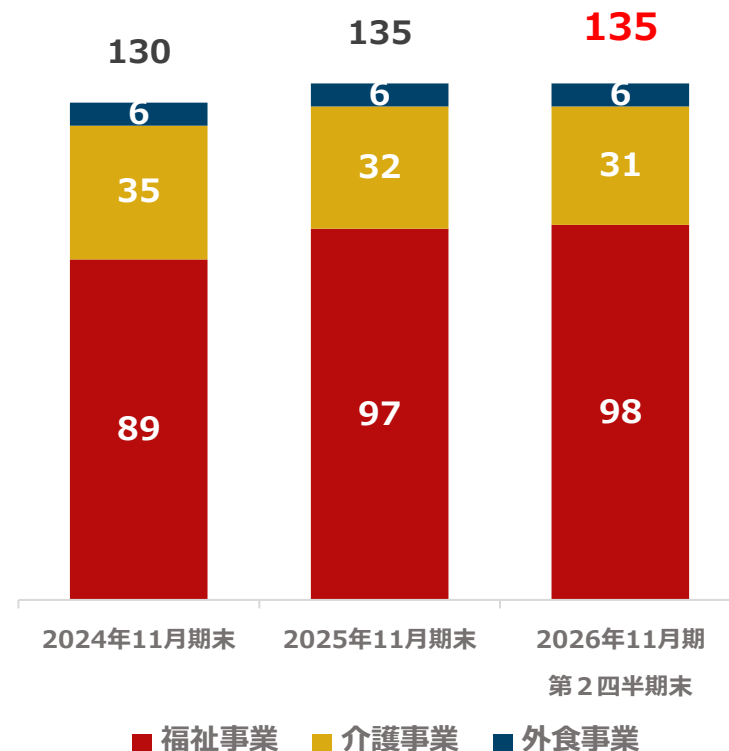
居宅介護支援 1事業所

- ・「オレンジユ徳丸」(12月)

6月：1事業所、7月：2事業所 開設済

8月：3事業所開設予定

※介護事業：2事業所閉鎖



(単位：百万円)

	2025年11月期実績	2026年11月期 第2四半期実績	前期比 増減額
流動資産	3,685	3,510	△174
固定資産	2,398	2,681	282
(有形固定資産)	1,351	1,564	213
(無形固定資産)	363	340	△22
(投資その他の資産)	683	775	92
総資産	6,083	6,191	108
負債	4,904	5,020	115
(流動負債)	1,467	1,646	179
(固定負債)	3,436	3,373	△63
純資産	1,179	1,171	△7

■ 流動資産の増減要因

- 現金及び預金の減少(△264百万円)
- 売掛金の増加(+61百万円)

■ 固定資産の増減要因

- 土地及び建物の増加(+216百万円)

■ 負債の増減要因

- 賞与引当金の増加(+30百万円)
- 買掛金の増加(+22百万円)

■ 純資産の増減要因

- 配当金の支払(△24百万円)
- 自己株式の増加(△3百万円)
- 中間純利益(+21百万円)



(単位：百万円)

	2025年11月期 第2四半期累計 実績	2026年11月期 第2四半期累計 実績
税金等調整前当期純利益	38	51
営業活動によるCF	39	109
有形固定資産の取得による支出	△55	△330
連結の範囲の変更を伴う 子会社株式の取得による支出	△87	—
投資活動によるCF	△100	△342
長期借入れによる収入	400	430
長期借入金の返済による支出	△301	△425
自己株式の取得による支出	—	△11
配当金の支払額	△20	△23
財務活動によるCF	76	△31
現金及び現金同等物の増減額	16	△264
現金及び現金同等物の期首残高	2,419	2,440
現金及び現金同等物の期末残高	2,435	2,175



1	2026年11月期 第2四半期実績		3P
2	2026年11月期 通期業績予想		14P
3	2026年11月期 主要取組事項		20P
4	補足資料（会社・事業概要）		30P



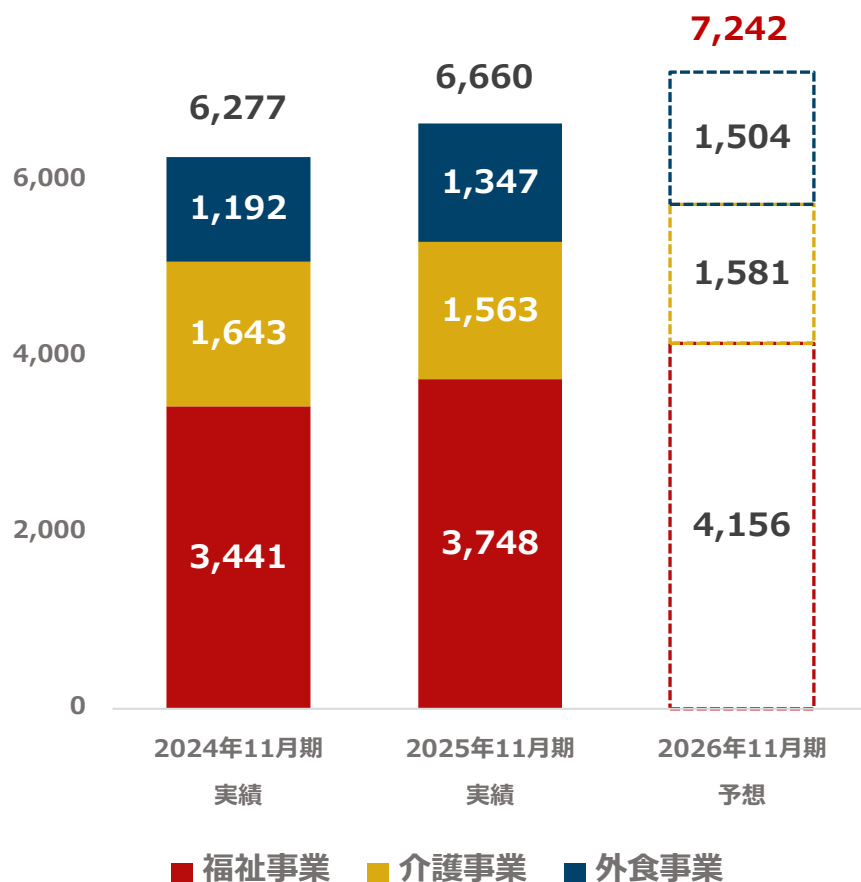
- 第2四半期の累計は予想を上回る結果となったものの、新規事業所の開設時期が後ろ倒しになった事等を鑑み、通期の業績予想は据え置きとした

(単位：百万円)

	2026年11月期 第2四半期累計 実績 (2025/12～2026/05)	2026年11月期 予想 (2025/12～2026/11)	進捗率
	金額	金額	
売上高	3,466	7,242	47.9%
営業利益	39	175	22.5%
経常利益	51	165	31.2%
親会社株主に帰属する 当期(四半期)純利益	21	92	23.2%

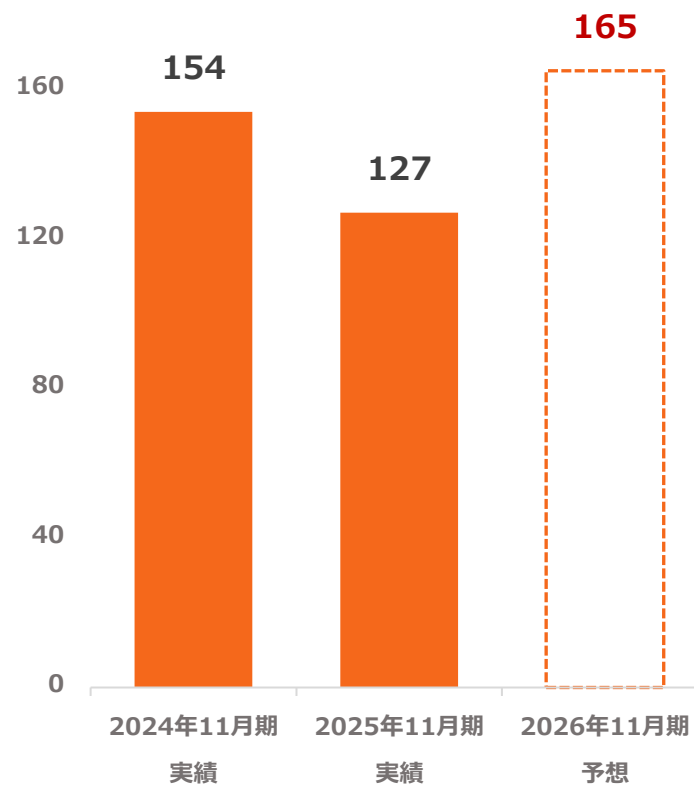
売上高の推移

（単位：百万円）



経常利益の推移

（単位：百万円）



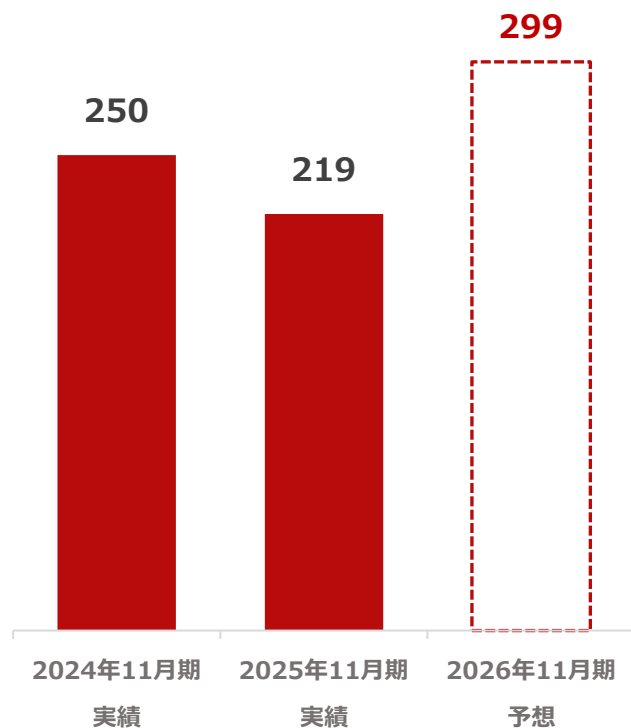
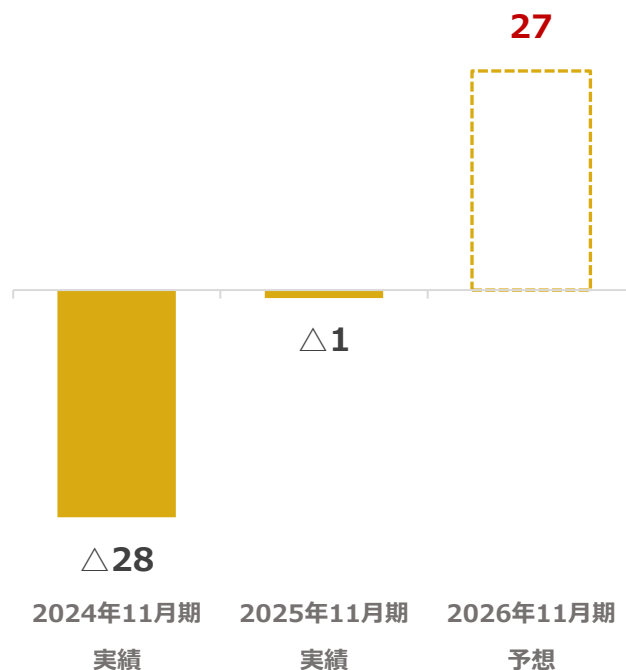
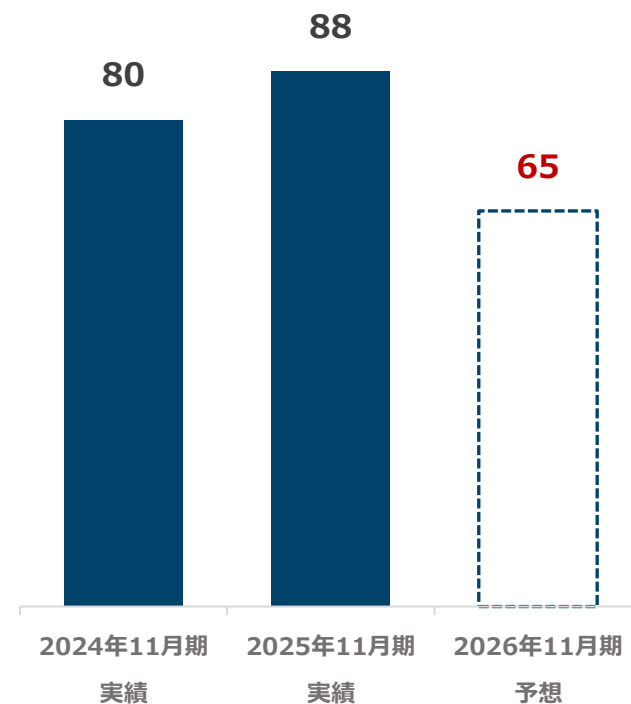
■ 各セグメント共に概ね予想通りの売上・利益になるものと想定

(単位：百万円)

		2026年11月期 第2四半期累計 実績 (2025/12～2026/05)	2026年11月期 予想 (2025/12～2026/11)	進捗率
		金額	金額	
福祉事業	売上高	1,973	4,156	47.5%
	営業利益	119	299	39.9%
介護事業	売上高	761	1,581	48.1%
	営業利益	△19	27	—
外食事業	売上高	731	1,504	48.6%
	営業利益	49	65	75.5%
調整額	売上高	—	—	—
	営業利益	△109	△216	—
計	売上高	3,466	7,242	47.9%
	営業利益	39	175	22.5%

調整額：各セグメントに帰属しない全社費用及びセグメント間取引消去

(単位：百万円)

福祉事業介護事業外食事業

2026年11月期は合計8事業所の開設計画

当初計画：就労継続支援B型3、児童発達支援1、グループホーム2、居宅介護支援1、居酒屋1

修正計画：就労継続支援B型3、放課後等デイサービス1、児童発達支援1、グループホーム1、居宅介護支援1、訪問介護1

■福祉事業：計画6事業所

就労継続支援B型 3事業所

- ・「パパゲーノ Work & Recovery府中」
- ・「ANELLA CAFE 相鉄ライフ緑園都市店」
- ・「ANELLA CAFE ふじみ野店」

開設済
開設済

放課後等デイサービス 1事業所

- ・「アプリ児童サービス上板橋」

開設済

児童発達支援 1事業所

- ・「アプリキッズ桑名野田2号館」

共同生活援助（グループホーム） 1事業所

- ・「ビートル桑名藤が丘7居室」

■介護事業：計画2事業所

居宅介護支援 1事業所

- ・「オレンジユ徳丸」

開設済

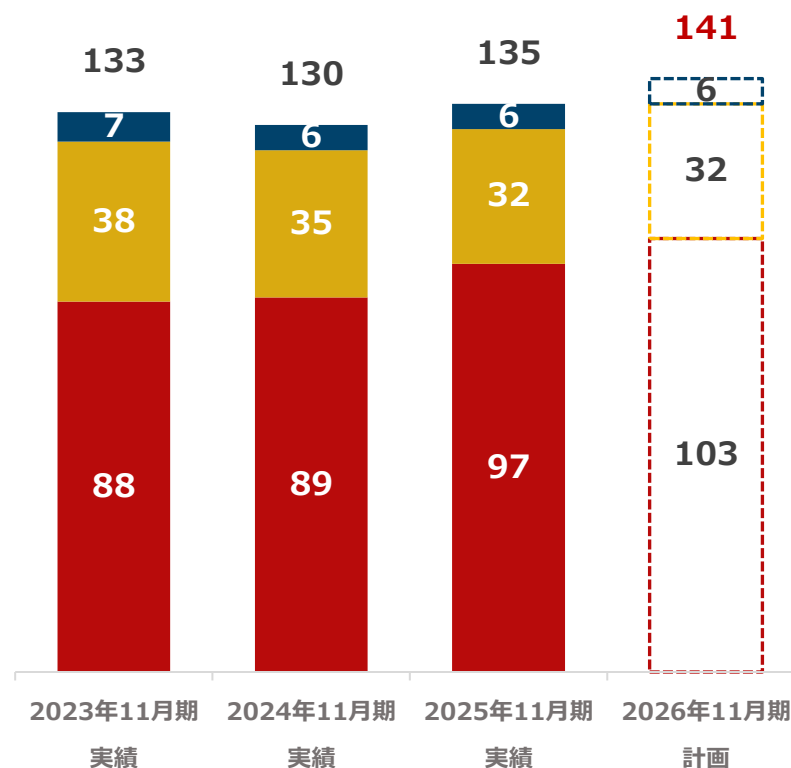
訪問介護 1事業所

- ・「グリーンプラス板橋」

開設済

※介護事業：2事業所閉鎖

事業所数の推移



■福祉事業 ■介護事業 ■外食事業

1	2026年11月期 第2四半期実績		3P
2	2026年11月期 通期業績予想		14P
3	2026年11月期 主要取組事項		20P
4	補足資料（会社・事業概要）		30P

持続的成長を支える3つの柱

主要取組事項① 人材の採用・教育

- ・ 多様な人材の採用強化
- ・ 階層別の教育強化

主要取組事項② 事業の拡大

- ・ 事業所の新規開設
- ・ 外食関連事業の拡大

主要取組事項③ DXの推進

- ・ 「A I 支援さん」の導入拡大
- ・ 全社データ統合基盤の構築

事業拡大を支える「多様な人材の確保」と「組織力の底上げ」

採用の強化

- ・ 自社「人材紹介事業」を活用した採用
業界課題である人手不足に対し、自社で人材紹介事業を立ち上げ、特定技能外国人を中心に独自の採用ルートを構築



特定技能外国人の定着支援を外部の登録支援機関に委託せず、自社で実施
帰属意識の向上を図る

- ・ 外国人人材の戦力化
上期で12名の特定技能外国人を採用
生活面・業務面での自社サポート体制により、人材が定着し、戦力として活躍

教育の強化

- ・ 幹部・中堅層へのマネジメント教育
今後の多店舗展開を牽引するリーダー候補に向けたマネジメントに特化した外部研修を実施



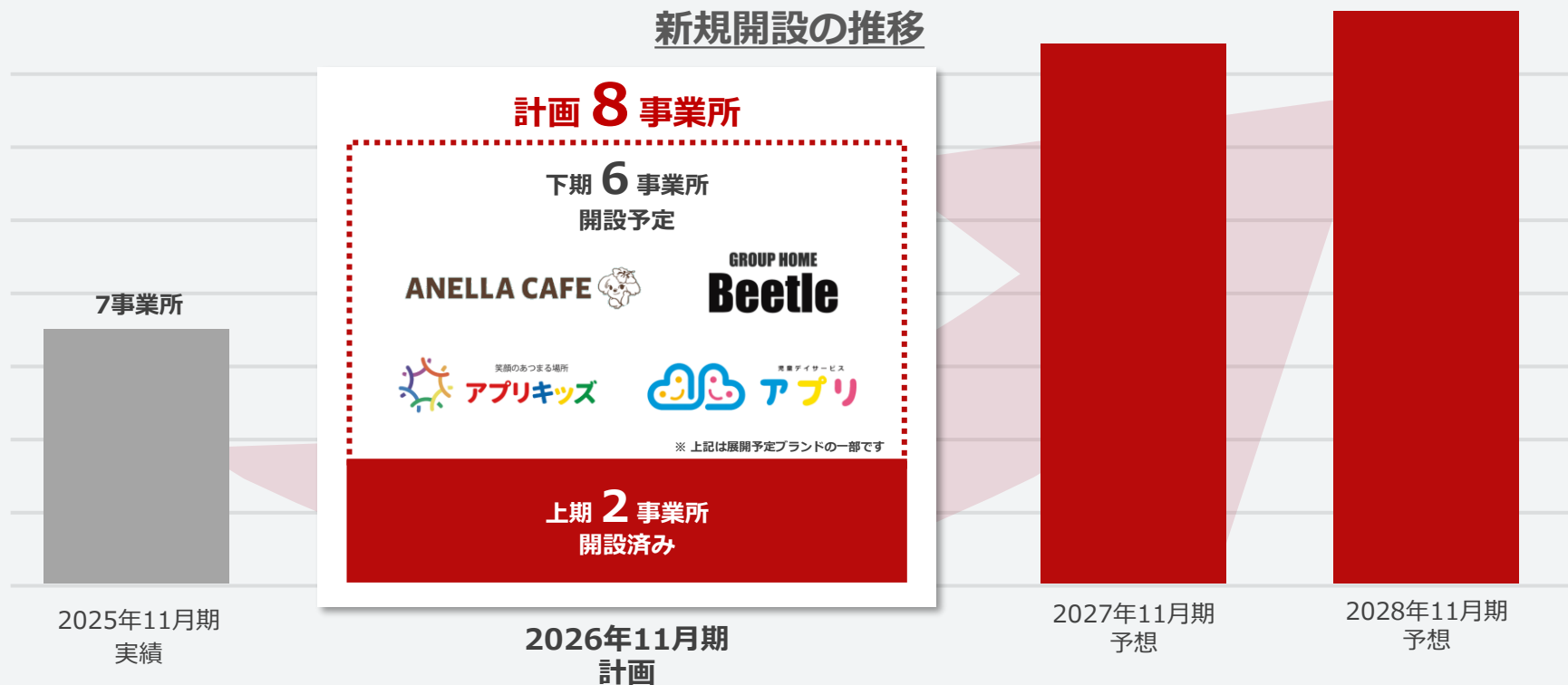
研修を受けた幹部・中堅層が講師として新入社員に研修を実施
双方の成長とサービス品質の向上を図る

- ・ 新入社員への教育(キャリア採用含む)
現場に即した「ABA(応用行動分析)」「お客様対応・緊急時対応」等の実践的スキルの研修を毎月実施

事業所の新規開設を継続して加速

- 通期の出店計画の達成に向け、着実に開設を実行し順調に立ち上げ
- 下期も需要の高い「就労継続支援B型」「放課後等デイサービス」「共同生活援助」等計画どおりに開設を推進

新規開設の推移



外食関連事業の拡大

- センターネットワーク社の取り組む、食材の外部販売を拡大
- 売上高の好調な伸びにより、増収増益での推移を想定

食材の外部販売 売上高・営業利益の前年同期比

売上高

2 8 4 百万円

↑ 前年同期比
+ 59 百万円 +26.6%

営業利益

2 7 百万円

↑ 前年同期比
+ 6 百万円 +29.5%

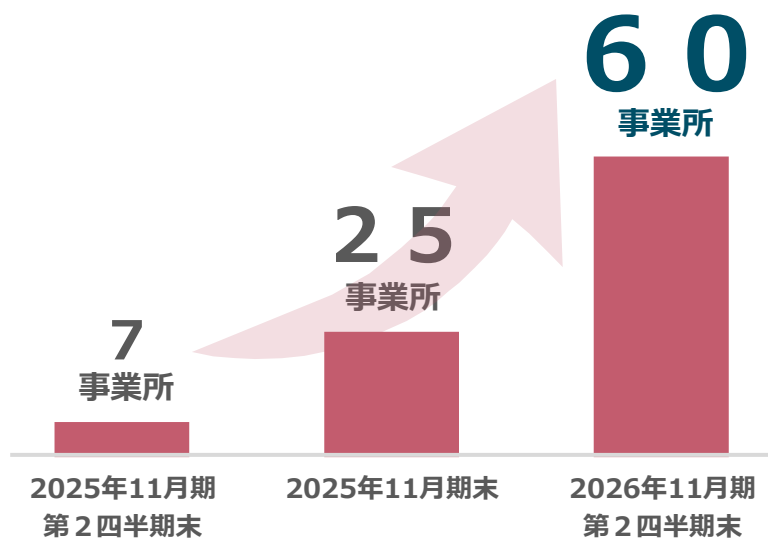
「AI支援さん」の導入拡大

- 新機能「利用時間管理機能」、「AIチャットBOT機能」を実装
- 上期末の導入事業所数は60事業所へと拡大

AI支援記録アプリ



導入事業所数の推移



幅広い現場への普及

特定のサービスに限らず、多様な施設で導入が進行中

【サービス種別】

就労移行支援

相談支援

就労継続支援A型

就労継続支援B型

児童発達支援

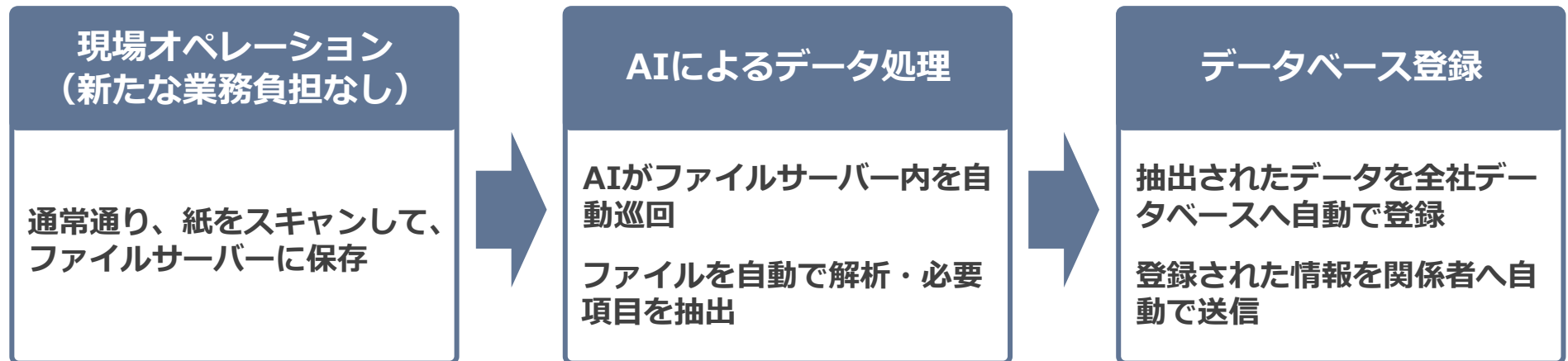
放課後等デイサービス

「生成AI活用研修」の提供

単なるシステム提供にとどまらず、現場ニーズに応じて職員がAIを使いこなすための研修を実施
心理的ハードルを下げ、AI支援さんの継続・拡大に貢献

全社データ統合基盤の構築

- AIによる紙・PDFデータの自動解析・データベースへの登録システムを開発
- 現場の業務負担を最小化しつつ、管理業務の効率化を実現



【現場からの評価】

新たな入力作業が発生しないため、現場職員から
「業務負担が増えずありがたい」と評価
DXの壁となる現場の抵抗感なく導入・定着を実現

【今度の展開】

「受給者証の更新管理」等、これまで紙のスキャン・原本保存・システム転記が発生していた作業領域へ横展開する予定

「福祉不動産開発事業」の開始

福祉事業所の圧倒的な不足という深刻な社会課題に対し、当社が培った「福祉ノウハウ」を活かし、福祉不動産の開発（土地取得および建物の建設）・運営事業者の選定・売却までを一貫して行う新事業を開始

当事業がもたらす3つの価値

①社会的ニーズへの貢献

自社の事業所開設でも直面した「福祉用物件確保の困難性」に直接アプローチ、地域福祉インフラの持続的な拡充に寄与
また社会課題を解決するESG投資に貢献

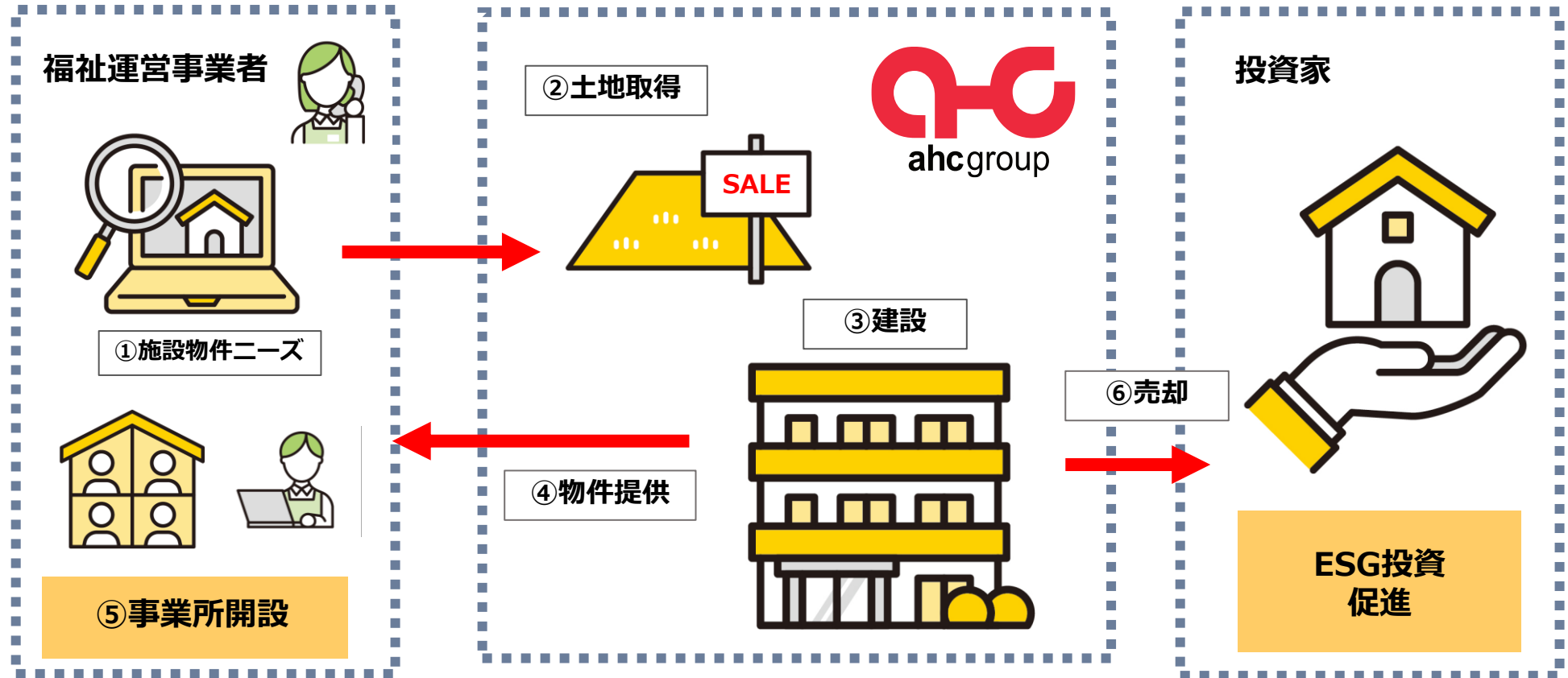
②事業構造の多様化

既存事業に加え、新たに資本集約型の事業を併走することで
多角的な収益ポートフォリオ・事業基盤を強固に構築

③資本効率の向上

実需に裏付けされた、確実性のある不動産開発事業へ積極的に投資
不動産ソリューションによるアセットライト経営の推進

ビジネスモデル



不動産ソリューションで社会課題を解決

株主優待制度の導入

■ 目的

株主様への感謝と、当社株式への投資魅力を高め、中長期的な株式保有の促進

■ 対象

毎年11月末日を基準日とし、300株以上を1年以上継続保有する株主様

※ 初年度（2026年11月末）は継続保有条件なし

■ 内容

デジタルギフト® **10,000 円分** を年1回贈呈

▼ 交換先例（交換品の中から好きな優待品目を選択）

Amazon ギフトカード

楽天ポイント ギフト

PayPay マネーライト

d ポイント

QUOカード Pay

Google Play ギフトカード

1	2026年11月期 第2四半期実績		3P
2	2026年11月期 通期業績予想		14P
3	2026年11月期 主要取組事項		20P
4	補足資料（会社・事業概要）		30P





当社グループは 社会福祉に特化した人生の総合サポート企業です

会社名	AHCグループ株式会社 (エイエイチシーグループ)
本店所在地	〒101-0032 東京都千代田区岩本町二丁目11番9号
代表者	代表取締役社長 荒木喜貴
設立	2010年1月
資本金	67,161千円 (2026年5月31日現在)
従業員人数	474人 (2026年5月31日現在) ※パート・アルバイト除く
業種	福祉事業、介護事業、外食事業 他

グループ会社（連結子会社）

- S Lカンパニー株式会社 (福祉事業所の運営)
- テラスワールド株式会社 (福祉事業所の運営)
- 介護ジャパン株式会社 (介護事業所の運営)
- センターネットワーク株式会社 (食材の仕入・加工・販売)
- 株式会社 R A I S E (福祉事業所の運営)
- 株式会社 C O N F E L (福祉事業所の運営)
- 株式会社 パパゲーノ (福祉事業所の運営・DX支援)
- Aネクストワークス株式会社 (福祉事業所の運営)



働くこと・自立していくことを実現させる多様なサービスを提供

福祉事業：業態別概要

《児童発達支援・放課後等デイサービス》

知的障害・発達障害がある未就学児・小学生・中学生・高校生を対象とした生活能力の向上のために必要な訓練等の療育プログラム、社会との交流促進につながる外出プログラム等を提供

《就労移行支援》

企業への就労を希望する65歳未満の障害や難病がある方に、具体的な就労相談や就業体験等を促し、一般企業への就労実現を支援

《就労継続支援B型》

生産活動にかかる知識・能力の向上や維持が期待され、雇用契約どおりの就業が困難な障害のある方に、生産活動とそれを通じた工賃の支払いの場を提供

《共同生活援助(グループホーム)》(介護包括型・日中支援型)

共同生活を営む住居を提供

障害がある方に、共同生活を営む住居で相談や入浴、食事の提供やその他の日常生活上の援助を実施

《生活介護》

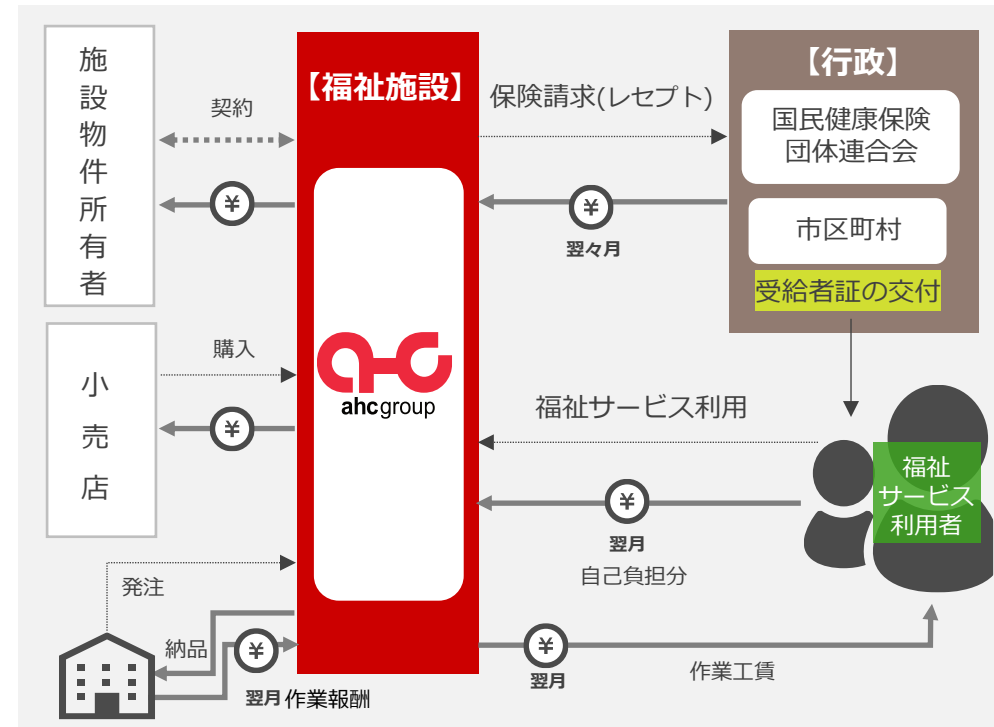
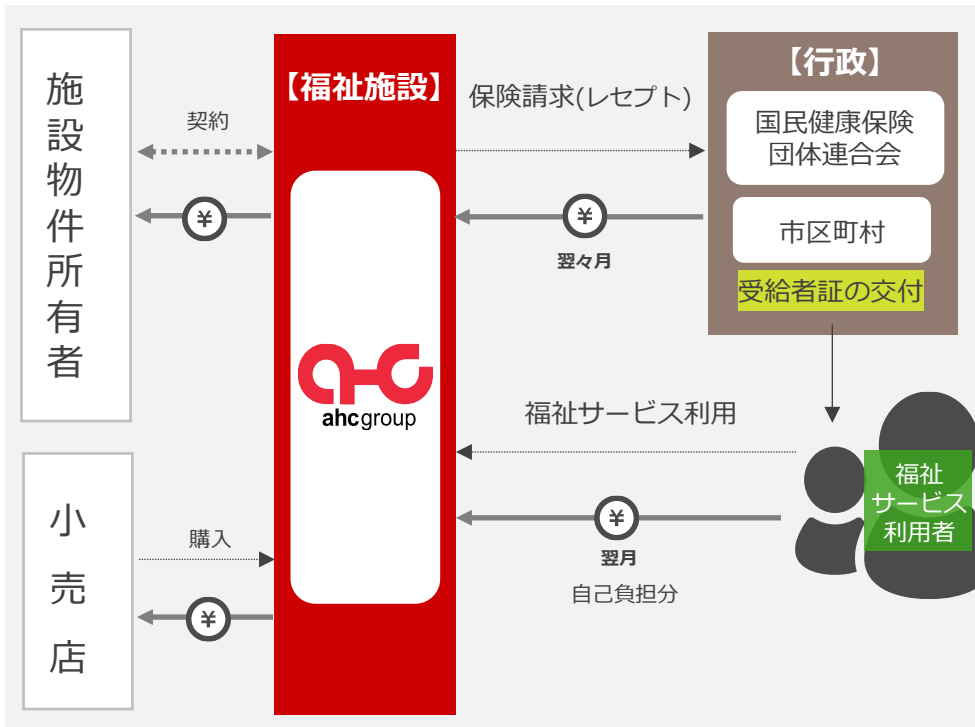
介護を必要とする障害のある方に、主に昼間において、日常生活上の支援、創作的活動・生産活動の機会の提供や身体機能や生活能力の向上のために必要な援助を実施

福祉事業

福祉事業の多くは9割の公費と約1割の利用者負担額で売上高が構成

■ 児童発達支援・放課後等デイサービス・就労移行支援・
生活介護・共同生活援助(グループホーム)

■ 就労継続支援B型



地域に根ざし、個別サービスを提供することで高い稼働を実現

介護事業：業態別概要

《デイサービス クラス》

日常に近い環境の中で過ごして頂くことができるデイサービス
朝食と夕食・宿泊サービスを実施し、24時間切れ目のない介護を提供

《デイサービス あいである》

1日の通所型レクリエーションが充実しているデイサービス
大浴場を設置し、入浴サービスを実施

《介護予防運動デイサービス KAGAYAKI》

午前又は午後の短時間型で機能訓練を中心としたデイサービス
自立度が高いご利用者様に、集団体操の他、個別対応時間を多く提供

《デイサービス グリーンデイ》

1日の通所型で入浴とリハビリを両立したデイサービス
ストレッチ・コアエクササイズ・マシントレーニングの機能訓練メニューを提供

《デイサービス トリコロール》

1日の通所型で食・運動・娯楽にこだわったサービスを曜日毎に変えて実施しているデイサービス

《居宅介護支援 オレンジユ》

介護支援専門員が本人・家族の心身の状況や生活環境、希望等に沿ってケアプランを作成し、
介護保険サービス等を提供する事業所との連絡・調整を行うサービスを提供

介護事業

利用者から一部負担金を受領し、差額は
都道府県や市区町村等の行政機関から
国保連を通じて報酬を受領

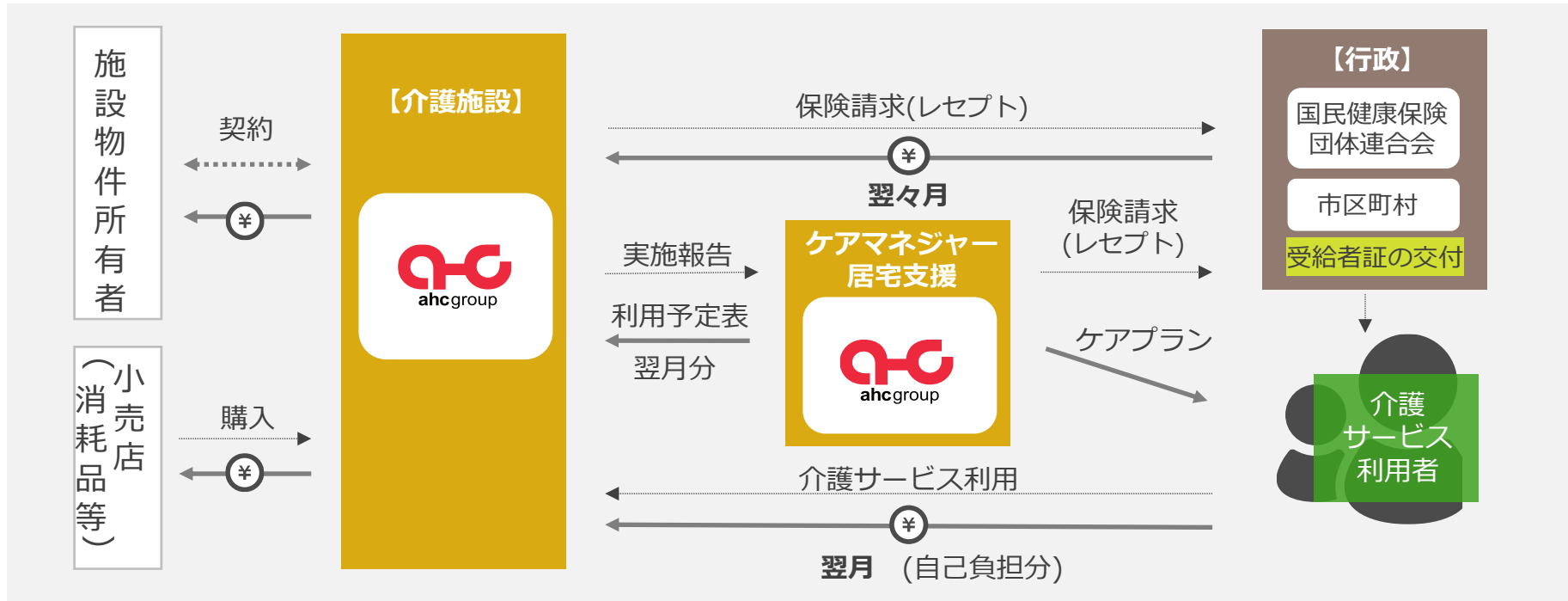
※ケアマネジャーの作成するケアプランに基づき、サービスを提供



9～7割＝公費

1～3割＝利用者負担

※条件により異なる



働く世代をメインターゲットとした店舗を展開

外食事業：業態別概要

《ねぎま三ぞう》

30代～40代のサラリーマン層をメインターゲットとして「ねぎま」「煮込み」「鮮魚」をメニューの柱とした高品質・低価格を実現した大衆居酒屋業態

《ニュー大衆居酒屋三ぞう》

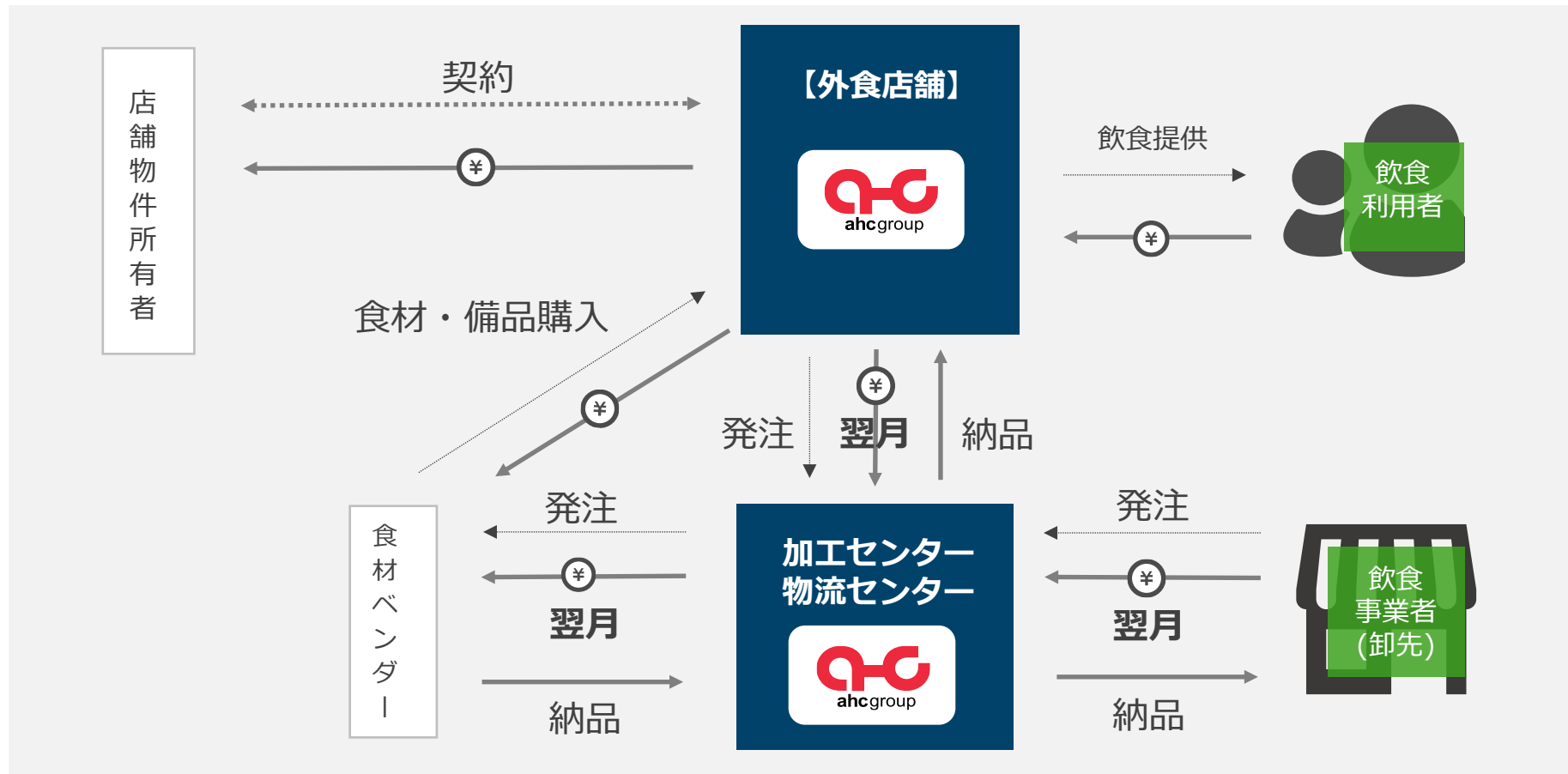
20代～30代の若者をメインターゲットとして「煮込み」「餃子」「牛タン」「ねぎま」を名物とした現代らしいモダンでお洒落な雰囲気の大衆居酒屋業態

《Bistro TERIYAKI》

ワインと本格ビストロをリーズナブルに提供する居酒屋業態
デートやお祝い、歓送迎会などハレの日の需要に対応

外食事業

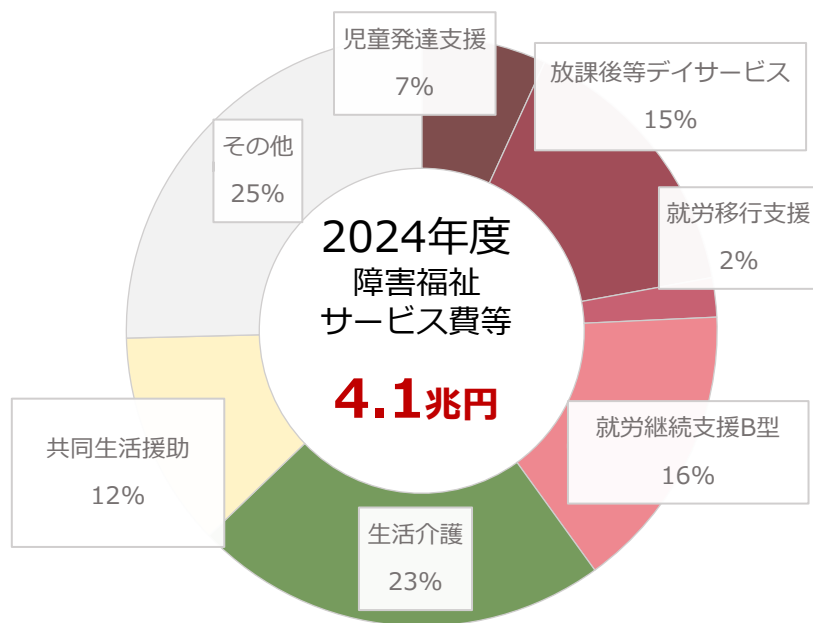
飲食利用者、飲食事業者への販売を中心とした事業



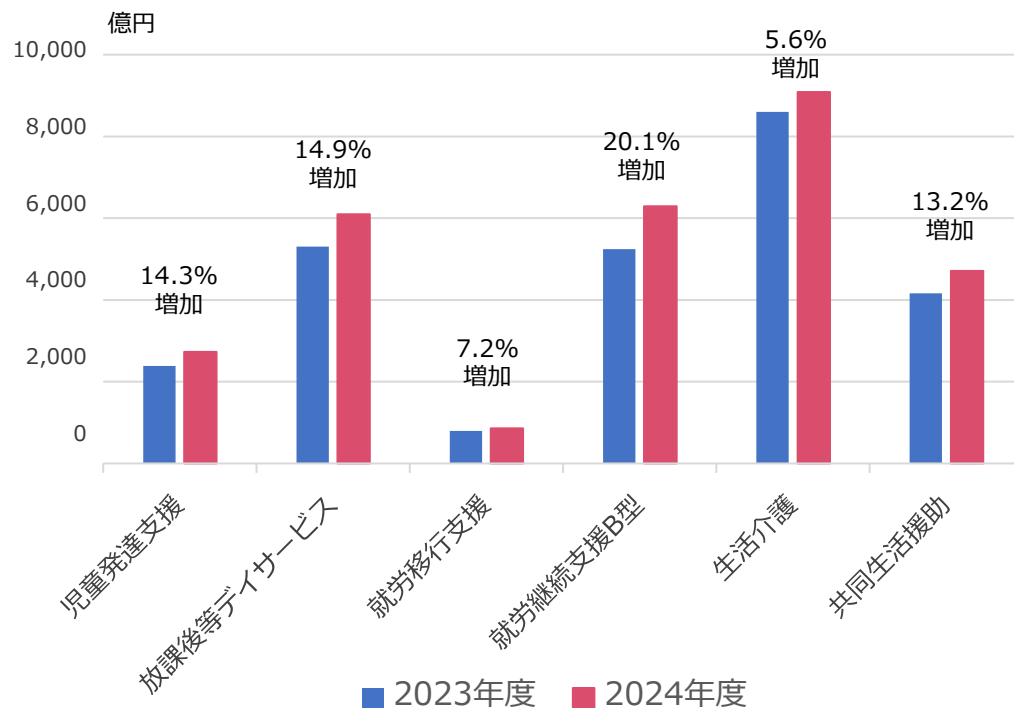
■ 障害福祉サービス市場は年々拡大傾向

2024年度の市場規模は**4.1兆円**を越え、2023年度と比較し**12.1%**の増加

福祉事業の市場規模と構成比



各サービスの市場規模と伸び率の比較



出典：こども家庭庁 こども家庭審議会障害児支援部会 2025年10月22日提出資料「障害福祉サービス等の費用の状況について」より当社作成

- 特定エリア内に多様な障害特性やニーズに対応できる事業所ポートフォリオを構築
地域内でのシェアを確立

福祉事業所のポートフォリオ

※2026年5月末時点

合計 98 事業所

滋賀県 3 事業所

放課後等デイサービス : 3

三重県 20 事業所

児童発達支援 : 3
放課後等デイサービス : 5
共同生活援助 : 9
生活介護 : 1
就労継続支援B型 : 1
相談支援 : 1

愛知県 7 事業所

児童発達支援 : 1
放課後等デイサービス : 5
相談支援 : 1

埼玉県 14 事業所

放課後等デイサービス : 5
共同生活援助 : 7
生活介護 : 2

東京都 19 事業所

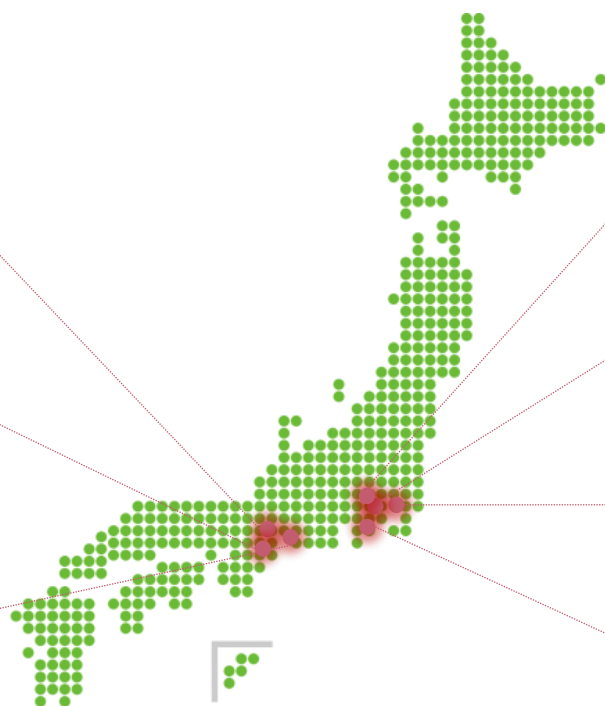
放課後等デイサービス : 10
共同生活援助 : 3
就労継続支援B型 : 4
就労移行支援 : 2

千葉県 30 事業所

放課後等デイサービス : 8
共同生活援助 : 17
生活介護 : 1
就労継続支援B型 : 4

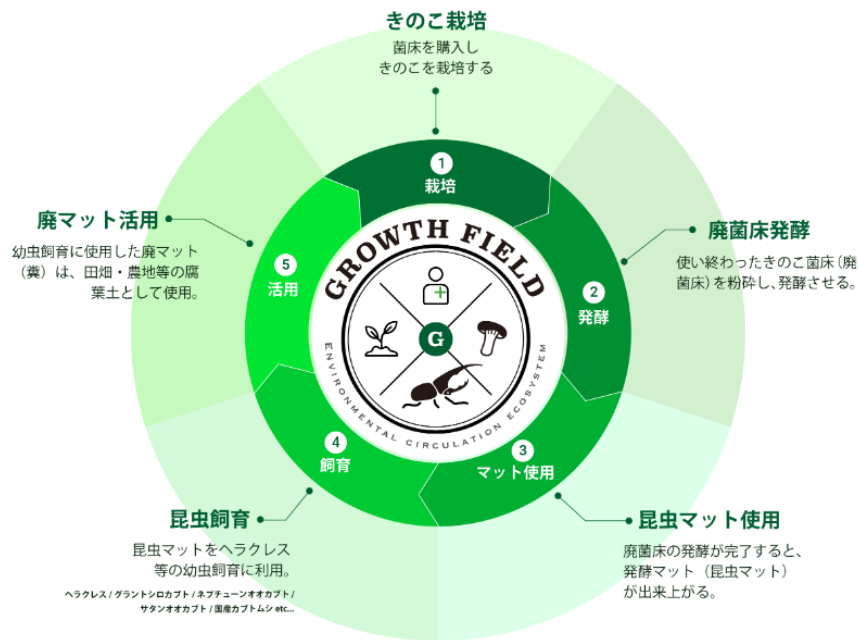
神奈川県 5 事業所

放課後等デイサービス : 3
共同生活援助 : 2



持続可能な社会への貢献を目指す環境循環型モデル事業

- ①障害福祉サービス事業とともに、循環型のきのこ栽培・販売、昆虫飼育・販売を実現する
- ②付加価値の高い仕事場の提供(福祉課題の解決)



「きのこハウス」 (菌床椎茸の栽培・販売)



「ヘラクレスデザインラボ」 (ヘラクレスオオカブト等の飼育・販売)



施設外就労 作業工賃



■ 「ねぎま 三ぞう 池袋西口店」が東京エリアで「食べログ ホットレストラン」アワードを**2年連続**受賞

※年間の食べログネット予約数が上位に入る店舗を発表するアワード



AHCグループは、『人を想う』という共通理念の下、多様な価値観を認め合い、すべての人が自分らしく活躍できる社会の実現を目指しております。

この実現に向け、関わり合うすべての人が希望にあふれる未来を創造できるよう社会福祉を中心に事業活動を行い、ご利用者様、株主様、お取引先様、従業員、地域社会等すべてのステークホルダーとの良好な関係を築き、中長期的な企業価値の向上に努めることで、持続可能で豊かな社会づくりに貢献してまいります。

マテリアリティ

取り組みテーマ

Environment
(環境)

環境負荷の低減



- 省エネルギー製品の導入
- 食材の有効活用

Social
(社会)

健康的な生活環境の提供



- 生活レベルの維持・向上を促す施設の提供
- 障害者・高齢者に配慮した福祉サービスの提供

働きがいのある職場の提供



- 柔軟で安全・安心な労働環境の促進

質の高い教育の場の提供



- 利用者の療育活動や生涯学習機会の提供
- 従業員への教育機会の創出

差別のない公平な社会の実現



- ダイバーシティ & インクルージョンの推進
- あらゆる形態の暴力・虐待の排除

Governance
(ガバナンス)

ガバナンス体制の強化



- 持続可能な経営基盤構築の推進

配当

■ 配当方針

中長期的な企業価値の向上に向けた戦略的投資や財務体質強化のために必要な内部留保を確保しつつ、安定的かつ継続的な利益還元を業績に応じて適正に行う

■ 1株当たり配当金

	2024年11月期	2025年11月期	2026年11月期(予想)
中間配当金	—	—	—
期末配当金	10円00銭	12円00銭	12円00銭
通 期	10円00銭	12円00銭	12円00銭

株主優待

■ 目的

株主様への感謝と、当社株式への投資魅力を高め、中長期的な株式保有の促進

■ 対象

毎年11月末日を基準日とし、
300株以上を1年以上継続保有する株主様

■ 内容

デジタルギフト®10,000円分を
年1回贈呈

自己株式取得

経営環境の変化を考慮しながら、今後も継続的に取得を検討・実施





関わる全ての人を想う
というささやかな一歩を、コツコツと積み重ね、
想いを深く広げていく先に、
希望にあふれる未来を創造します

免責事項

- ・本資料に掲載されている将来情報等は、本資料作成時点で入手可能な情報に基づくものであり、その実現を保証するものではありません。また、当社グループの事業を取り巻く、経済情勢、市場動向等の様々な要因の変化により、実際の業績や結果と乖離が生じる可能性がありますので予めご承知おきください。
- ・本資料は、当社及び当社グループを理解いただくための情報提供を目的としたものであり、当社が発行する有価証券の購入や売却等を勧誘するものではありません。
- ・今後、新しい情報・将来の出来事等があった場合であっても、当社は、本資料に含まれる情報の更新・修正を行う責務を負うものではありません。

【お問合せ先】

AHCグループ株式会社 経営企画部 I R 担当

TEL : 03-6240-9550

E-mail : info-ir@ahc.co.jp

